

科目名	家庭基礎		必履修 学校必履修 選択必履修	使用 教材	家庭基礎 つながる暮らし共に創 る未来(教図) 生活学 N a v i 2023 (実教)
学年 学級	2 年全クラス	単位数	2	教科 担当	富樫 和恵

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学 期	中間考査 まで 1) 生活設計 2) 青年期と家族  3) 保育 ①子どもの成長を見つめる ②子どもの生活と保育 ③これからの子育て環境	・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割を理解し、 子供を取り巻く環境について考える。 ・子育て支援について理解し、乳幼児と適切に関わる ための基礎的な技能を身に付ける。 ・子供を生み育てる意義を考えるとともに、子どもの 健やかな発達のための親や家族および地域や社会の果 たす役割について考察できる。 ・幼児の遊び実習について積極的に取り組むことがで きる。
	期末考査 まで 第2章衣生活 1) 衣服のはたらき 2) 衣服ができるまで 実習) エプロン製作	被服の機能や、繊維・布に関する基礎的知識を理解し、 衣生活の中に生かせるようにする。  ・ミシンを使用して衣服の補修やモノづくりができる。 被服実習)・裁断がきちんとできる ・ミシンが正しくセットができる。・まつり縫い、ボタ ンつけができる。
2 学 期	中間考査 まで 被服実習) 続き エプロン製作 3) これからの衣生活  B1章 食生活 1) 食べるということ	被服の機能や、繊維・布に関する基礎的知識を理解し、 衣生活の中に生かせるようにする。 ・ミシンを使用して衣服の補修やモノづくりができ る。 被服実習)・裁断がきちんとできる ・ミシンが正しくセットとし、丈夫に縫うことができ る。・アイロンがけができる。 ・環境にあった衣服を選ぶことができる ・ライフステージを意識しながら食事の選択ができる。
	期末考査 まで 2) 私たちが食べているもの ・栄養素 3) 安全に食べるために 調理実習) 炊飯、中華料理、洋風料理等 調理実習 西洋料理	・豊かな食生活に必要な基本技術を身につける。 ・食品の安全・衛生の意識を高め、またその知識を使って調 理することができる。 ・食糧事情について知り、日本の食の課題を考察できる。 ・栄養の機能を理解し、栄養のバランスのとれた食生活をす るための知識を養う。
3 学 期	学年末考査 まで C-1)消費生活・環境 ①家庭経済・消費者生活と環境・消費者の 権利と責任 ②家計の金融資産 B-3)住生活 ・安全な住まい ・快適な住まい A-4)高齢社会 ①社会保障の意味とその仕組み ②高齢社会の現状と課題	・消費構造の変化、販売方法の多様化、消費者問題を知る。 ・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決 定に基づいて行動することができる。 ・金融経済と時分の家庭経済とのつながりがわかる。 ・防災の意識を高め、自らの命を守る行動ができる。 ・ひとり暮らしを始めるために住宅を選ぶことができ、手続 等ができる。 ・高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳などを理解する。

<p>学習のポイント (授業中や家庭学習の方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 社会の多様化・国際化・情報化といった生活の変化に対応できる知識や判断力を身につけ、生活自立をめざし、自分らしく主体的に生きていける力や問題解決能力を身につけてもらいたい。</li> <li>* 生活に必要な基礎的知識と技術を習得して欲しい。男女が協力して充実した家庭生活を営むことが出来る能力と態度を深めよう。</li> <li>* 評価は知識・理解や技能などの成果を評価するだけでなく、学習過程における創造力や思考力、問題解決能力、学習への意欲や関心・態度なども評価の対象とします。提出物は必ずだすこと。</li> </ul>
--

